

日本山岳救助機構 (jRO:ジロー) 会員の皆様

2015 年度事後分担金のご通知とご報告 および 2014 年事後分担金の精算についてのお知らせ

① 2015 年度事後分担金のご通知 **500 円**

● 会員期間開始日が属する計算期間の、上記の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。

- 事後分担金とは、各年の1月1日から12月31日の間に発生した、カバレッジ制度の遭難救助費用補填金及び臨時費用補填金（以下補てん金と略）の総額を会員総数で除したものです。
- 2015年度の計算期間は2015年1月1日～12月31日です。この期間に会員期間が開始された会員の皆様に、1会員あたり500円の事後分担金のお支払をお願い申し上げます。
- 団体・家族会員の方は、それぞれの会員期間ではなく、本会員の会員期間開始日（管理期間）が2015年1月1日～12月31日の場合に、2015年の事後分担金のお支払いをお願いいたします（現行規約上、団体・家族各会員の開始日が2015年に属していない場合でも、本会員開始日が2015年の場合には、2015年の事後分担金をご負担いただいております。ご了承をお願いいたします）。
- 事後分担金には団体割引・家族割引等はありません。
- 計算方法についてはP2～3をご参照ください。

② 2014年補てん金額の確定による相殺（割引）額 ▲ **400 円**

● 対象となるのは2015年のjRO会員、かつ2014年事後分担金支払済みの会員の方です。 （退会者等を除きます。下記※注をご参照ください）

- 2014年度の事後分担金は昨年600円と算出しましたが、2015年11月9日現在カバレッジ対象額がほぼ確定し、結果として事後分担金としてお支払いいただいた金額の総額が2014年度補てん金総額を上回ったため、2014年継続会員の方に▲400円を相殺（割引）させていただきます

※注：2015年にjRO会員で、かつ2014年事後分担金をお支払いいただいた方でも、下記の方の場合はシステムの関係上相殺処理を行うことができません。ご了承をお願いします。

- すでに退会済、または2015年はjRO会員でない方
2015年度事後分担金のご案内および2016年度への更新のご案内がお送りできない場合等
- 2014年の本会員（団体、家族会員の本会員）がすでに退会している方
2014年は個人会員で2015年更新時に個人を退会し、新たに団体へ加入した場合等
- 2014年と2015年では、本会員が異なる方
所属の団体を変更した場合等【2014年の事後分担金をお支払いいただいた2014年度の本会員ではなく、2015年度の本会員へ相殺（割引）処理が行われます】
- 各会員についての金額の詳細は2015年度から2016年度への更新のご案内をご参照ください。
- 2014年事後分担金の確定額計算についてはP4をご参照ください。

上記に対象の方の2015年事後分担金は、1 会員あたり**100円**（500円－400円＝100円）となります

この件のお問い合わせはjRO事務センターへお願いいたします。

2015年補てん金お支払い実績表(★未請求含む)

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	北ア 大遠見山	※ 単独 大遠見山付近で幕営中、テントが倒壊した為、警察へ救助要請を行い、ヘリにピックアップ。低体温症、指の凍傷を負った。	凍傷	¥329,140
1	八ヶ岳 赤岳	※ 単独 八ヶ岳連峰赤岳の地蔵尾根を下山中、地吹雪等の視界不良により道に迷い谷筋へ入ってしまう。転倒・滑落を2回。右足スネを負傷した為、携帯電話にて救助要請。	負傷	¥70,200
1	新潟県 かがらスキー場	※ 道迷い 新潟県かがらスキー場から中尾根北斜面を目指したが、積雪量が多く目的の逆の斜面に迷い込んでしまう。携帯が圏外だったため、自らの救助要請は出来ず、宿泊していた施設から警察、家族へ連絡があり捜索願いが出される。遭難発生2日後に県警ヘリにより発見、救助される。	特になし	¥95,306
			特になし	¥45,306
1	長野県 北八ヶ岳天狗岳	※ 単独 東天狗岳より黒百合ヒュッテへ下山中、視界不良により道迷いとなり雪洞・ツェルトでビバーク。携帯電話にて救助要請。翌日救助隊に付き添われ下山する。	特になし	¥166,559
			特になし	¥131,440
1	長野県白馬五竜 遠見尾根	五竜遠見スキー場駐車後、行方不明。山スキー中に雪崩に巻き込まれたと思われる。	死亡	¥1,393,738 ★
			死亡	¥947,814 ★
			死亡	¥736,470 ★
1	新潟県 赤倉観光 リゾートスキー場 前山	※ 単独 遭難翌日スキー場のホテル第5 高速クワッド降り場から約250m 上方の東山東側斜面の沢にて雪に埋もれ、スキーをはいていない状態で発見される。雪崩に巻き込まれ死亡したとみられる。スキー場まで一緒に来ていた同行者が夕方になっても戻らないことを心配し救助要請。	死亡	¥754,120
2	奥神鍋スキー場	スノーボード滑降中、立木に衝突。左肋骨複数本と右足の大腿骨を骨折。	負傷	¥50,000 ★
2	北ア 白沢天狗山	長野県白沢天狗尾根北方斜面にて山スキー中雪崩に巻き込まれ、立ち木にぶつかり即死だった模様。同行者により救助要請。天候悪化の為、捜索活動が難航し事故発生2日後に発見、防災ヘリにて収容。	死亡	¥264,454
2	北ア 乗鞍岳	※ 単独・道迷い 視界不良により一度撤退を決めるが、偶然現在位置が判明した為、登山を続ける。その後、下山中に樹林帯で道を誤り、谷筋に迷い込んでしまい救助要請。携帯電話のGPS情報を警察が把握し、合流地点を指示され合流。救助隊が付き添い下山。	特になし	¥49,260
3	群馬県 妙義山星穴岳	※ 滑落 妙義山星穴岳を登山中、星穴岳手前の岩峰にて休憩しようとして滑落。同行者が携帯電話で救助要請。事故発生1時間30分後にヘリにて救助。	負傷	¥190,908
4	南ア 甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根	※ 滑落 山梨県警のヘリコプターが、8合目の登山道から数百メートル下の沢で男女2人が倒れているのを発見した。ヘリに収容し、ふもとに運んだが死亡が確認された。現場付近は雪が残っており、県警は、2人が一緒に登山中、滑落したとみている。パーティー全員が亡くなった為、詳細は不明。	死亡	¥250,000 ★
5	北ア 前穂高岳	前穂高岳北尾根上4峰登はん中に落石を受け4名パーティー中、1名負傷、1名は120Mほど滑落死亡。洞沢ヒュッテ経由で警察へ救助要請。ヘリにて松本の病院へ搬送される。	負傷	¥83,250
			死亡	¥225,000
6	大雪山系旭岳	※ 道迷い 下山中にガスと強風の中、2人パーティーが別れてしまう。目視も出来ず、声も届かない為、同行者、遭難者から別々に警察へ救助要請。同行者は警察からの指示により自力下山。翌日自衛隊により金庫岩から地獄谷へ降りてしまった遭難者を双眼鏡で発見。警察経由でヘリへ情報を伝え、ヘリにてピックアップ。	特になし	¥336,768
7	富山県雲ノ平 高天原大東新道 A沢とB沢の間	二人パーティーの先頭で歩いている最中、大きな岩に足を置いた瞬間滑り、バランスを崩し、黒部川に滑落する。その際右肩脱臼し歩行困難となる。動けない為、通りかかった登山者に付近山小屋へ救助を依頼。山小屋経由で県警へ救助要請連絡、ヘリにて病院へ搬送される。	負傷	¥8,045
7	北ア 西穂高岳	※ 単独・滑落 西穂高岳にて100Mほど滑落。遭難発生日(推測)から4日後に県警ヘリが沢にて発見、収容される。単独のため詳細不明。	死亡	¥237,896
8	鳥海山	※ 病気 登山仲間と計8人で午前7時ごろ、秋田県にかほ市の鉾立口から入山。頂上まで約300メートル地点で突然、意識を失った。防災ヘリと県警ヘリが救助に向ったが、悪天候による視界不良で断念。消防署員と酒田署員が救助に向かい、通報から約5時間後に合流し、地上で搬送。心肺停止だった。	死亡	¥250,000 ★
8	山梨県大菩薩嶺 滝子山 大鹿沢ズミ沢	※ 滑落 2人パーティーで大鹿沢ズミ沢野を遊行中、同行者が大滝(トイ状)を先にフリーで登ったが危険を感じた為、ロープで確保しようと思いや手ぶりで合図をするが、既に登り始めていた。急遽上からロープを投げて確保。ロープを手繰りながら登り、傾斜が落ち着いた場所でテラスに移ろうとしたとき足を滑らせて滝を滑落。現場に居合わせた別パーティが救助に駆けつけ、救助要請。	死亡	¥220,710

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
8	北ア 大天井岳	※ 単独・道迷い 大天井ヒュッテへ向かう途中、切通岩付近にて◎印を確認しその岩から直上する。そのうちにルートがなくなり降りることも難しく、登山道を求めハイマツをつかみながら登るが道が見つからず道迷いと判断。17:00を過ぎておりこれ以上の行動は危険と判断し、救助要請を行う。大天井ヒュッテより2名が救助に向かいロープで確保しながら付き添いで下山。	特になし	¥85,196
8	秋田県 小又峽	※ 滑落 北穂高岳から上高地へ下山中にパーティーとはぐれる。4日後の午前、南陵南側斜面にて死亡しているのを県警が発見。	死亡	¥247,066
8	南ア 鳳凰三山 白鳳峠	※ 滑落 姉と白鳳峠に登山中、道が分からなくなり下山していたところ、足を滑らせて滑落・死亡。同行者は翌日に自力で下山し、警察と消防が遺体を収容した。	死亡	¥500,000★
8	北ア 白馬岳	柵池から白馬岳へ向かう途中、登山道の木の根っこに足をとられ転倒、右ひざを強打。	負傷	¥450,000★
8	北ア 燕岳	燕岳から中房温泉へ下山中、富士見ベンチ手前にて転倒した際に足首脱臼骨折する。山岳救助隊・県警により人力担ぎで中房温泉まで、そこから救急車で病院まで搬送。	負傷	¥147,434
9	北ア 奥穂高岳	※ 単独・道迷い 雨、風、霧が濃く、道に迷い、救助要請。	不明	¥400,000★
9	北ア 横尾～涸沢	※ 病気 横尾～涸沢間を登山中に脱水症状による意識混濁状態となり、救助要請。	特になし	¥43,735
9	北ア 双六岳	双六小屋近くで足を滑らせ転倒。ねん挫する。歩くのが困難な状況だったが自力で下の小屋まで行く。小屋からは先は歩けそうにない為、県警へ救助要請を行い、ヘリにて救助された。	負傷	¥300,000★
9	新潟県 鳥甲山	下山中に転倒し、さらに夜12時に懐中電灯の電池が切れ道が見えなくなり屋敷登山口から200M程のところでビバーク。	負傷	¥200,000★
10	長野県 八ヶ岳大同心	※ 滑落 大同心上部登攀中に滑落、同行者に助けられて、硫黄岳山荘泊。翌朝、県警ヘリに収容され、富士見町の病院に入院。	負傷	¥250,000★
10	鳥海山	※ 単独・道迷い 山頂から滝ノ小屋へ下山道が不明瞭だったため、踏み跡の多い下山道を目的の道と間違え下山開始。途中、間違いに気づき南西方面へ正しい下山道を求めてトラバースするが日没が近づいたため、岩の間でビバーク。翌日6時より行動を開始、現在地を確認、北面にいる事が判明したため、山頂へ向かい登り返しをするが2時間ほどで行動が困難となり救助要請。消防ヘリにてピックアップ。	特になし	¥4,340
10	北ア 北穂高岳	※ 単独・滑落 A沢コル飛驒立き付近にて滑落。付近登山者により救助要請。消防防災ヘリで収容されたが、病院で死亡が確認された。	死亡	¥224,197
10	静岡県 愛鷹山袴腰岳	※ 単独・道迷い 下山道を間違え谷を下降してしまう。間違いに気付いた時は登り返す体力がなくなっていたので谷筋を下る。その際負傷し岩陰でビバーク。翌日前日のケガにより行動不能と判断し、メールで配偶者へ救助要請を依頼。その後、歩けるようになり下山路を模索中にメールで捜索隊が救助へ向かった連絡が届き、下流へ移動。12：30頃警察から依頼を受けた地元山岳会と合流し登山口まで下山。救急車で病院まで搬送。	負傷	¥150,000★
10	北ア 涸沢岳	ザイデングラード下山中、かかどが岩に挟まり、そのまま右足を出したところ足首に痛みが走るが涸沢ヒュッテまで自力下山。翌朝歩行不能となり救助要請。	負傷	¥300,000★
総額 (11/9 現在) 【支払済+★未請求 (見込) 額】				A ¥10,138,352
推計値 (11/9 現在未報告案件及び11/10以降発生案件に対応するため 下記参照)				B ¥16,500,000
2015 事後分担金算出の基礎数字 (事後分担金計算式の分子) A+B				C ¥26,638,352
2015 会員総数 (11/9 現在のエラー無会員総数)				D 53,279 名
2015 事後分担金 C÷D= ¥499.98 (端数切り上げ)				E ¥500

◎推計値(B欄 ¥16,500,000円)の算出について

- 一般的に12月の遭難件数は他月に比べて多く発生し、積雪期のため捜索救助費用も高額になる傾向にあります。過去においても2014年は3件、2013年は4件、12月は2件4名、2009年は2件、2008年12月は3件のカバレージ対象となる遭難事故が発生しています。(2011年には発生はありませんでした)
2012年の場合は、長期にわたる捜索活動が実施されました。また過去12月にはほぼ満額のカバレージの支払いもあります。
- jRO会員数は2009年末の会員数約1万名に比べて、本年度は5.3倍(約5.3万名)となり、事故件数はそのまま5.3倍とはなることはないものの、会員が増えれば遭難件数も増加すると予想しております。
- また、遭難事故の発生からその通知まで約1カ月以上かかるケースが多く、また11月までの未報告案件のあることも考慮する必要があります。
- B欄1,650万円という推計値はjROの規約による補てん金上限(330万円)の支払が起きた場合には、5名分の金額になり、前記のような過去の経験値を勘案し算出いたしました。
- 2015年の補てん金額が確定されるのは2016年11月を予定しております。
- 算出した事後分担金に過不足が発生した場合は、相殺または追徴処理を行う予定です。
- 次ページに2014年度補てん金お支払い実績表(確定)を掲出いたしました。

2014年補てん金お支払い実績表(確定)

●2014年事後分担金の精算(相殺処理)金額:▲400円

●2015年11月現在、昨年度補てん金お支払対象案件は下表以外の発生は想定できません。よって以下を2014年補てん金(カバレッジ金額)総額といたしました。

★未請求案件

月	遭難発生場所	遭難事故の概要	被害	補てん金額
1	城ヶ崎門脇崎スカイラブ	最初のカムをセット、斜上するときフォーール。カムが外れ約4m下のテラスにグランドフォーールする。	負傷	¥28,350
2	長野県 湯川 アスクライミングゲレンデ	※ 滑落 降雪時のアスクライミング中、トップロープをセット。岩場の上部にはいる。堅い部分に乗った新雪に滑り岩場の基部までグランドフォーール。積雪がひどく、救急車などの利用はできず、ドクターヘリで救助される。	負傷	¥32,040
2	岐阜県白川村野谷庄司山	雪崩に巻き込まれ、同行パーティーにより119番へ通報。防災ヘリにより約2時間後救助されたが死亡が確認された。	死亡	¥250,000
3	山梨県 丹沢 大室山	※ 道迷い・滑落 山スキーの下山途中で1人姿が確認できなくなる。夜8時頃まで下山を待たず、確認できず。翌朝計5チームで捜索開始。昼過ぎに遭難者を発見するも、反応はなかった。翌日収容作業を行う。	死亡	¥479,877
4	八ヶ岳 赤岳 地蔵尾根	※ 滑落 地蔵尾根上部にて80mほど滑落する。その際、右足が動かなくなってしまい、他パーティーの協力でもロープをFIXし尾根まで引き上げる。ヘリの出動は不可と判断され、人力・自動車、さらに救急車に乗り病院へ搬送される。	負傷	¥228,884
5	北ア 爺が岳	※ 単独 積雪がグズグズで足がはまって歩行が難しく、4時間かかっても冷池山荘に到着できず、疲労もあり18時頃、途中でビバークしたが、冷池山荘の人に救助され冷池山荘へ収容される。翌日ヘリで松本へ下山する。	病院収容	¥162,880
5	立山 雄山	※ 単独・滑落 「男性が倒れている」と付近の登山者から通報があった。ヘリコプターで病院に運ばれたが、死亡が確認される。	死亡	¥200,463
5	西上州 荒船山	※ 滑落 毛無岩付近で滑落。登山道の崩壊箇所を偵察しかけた際、足元が崩れ滑落したと思われる。	死亡	¥250,000
5	北ア 溜沢	※ 病気 小屋にて宿泊中、尿管結石を発病。就寝中の山小屋スタッフを起こし、ヘリでの救助を依頼する。	病気	¥104,376
6	長野県 天水山	下山中、少しめかっている所で木の根につまづきすべる。その際、すねと足首を骨折。	負傷	¥10,000
6	北ア 北穂高岳 松溝岩下	※ 滑落 北穂高岳の南稜付近で男女2人の遺体を遭対協隊員が25日夜発見した。県警松本署が26日朝、県警ヘリコプターで遺体を収容した。約200メートル滑落したとみられる。	死亡 死亡	¥580,864 ¥150,000
7	鳥海山 河原宿小屋近く	※ 単独・滑落 雪渓の上で道に迷い、登山道を探しているうちに暗くなってしまったので、ささやぶの下で両手を着てビバーク。翌朝再び道を探そうとしたがもやがかかって視界がきかず、行動不能になってしまい救助要請する。	特になし	¥125,000
8	北ア 白馬鍾ヶ岳	※ 滑落 白馬鍾ヶ岳から白馬鍾温泉小屋に向けて下山中、小屋を目前に足を踏み外し滑落。雪渓と斜面の間におおむけ状態にて停止。同行者が救助要請。遭対協の隊員により救助。鍾温泉小屋まで付き添いで下山。翌日ヘリにて麓まで搬送後、救急車にて病院へ搬送。	負傷	¥108,916
8	北ア 五竜岳	※ 病気 五竜山荘出発20分後、登山道にて心肺停止となる。県警ヘリで収容したが死亡が確認された。	死亡	¥275,000
8	北ア 鹿島槍ヶ岳	※ 滑落 大学山岳部の仲間3人と4日に入山。6日朝に4人で五竜岳に向かう途中に行方が分からなくなった。翌日遺体が登山道から約500メートル下の岩場で発見されヘリで収容される。当時周囲は霧に覆われ、視界は悪かったという。	死亡	¥482,740
8	北ア 常念岳	常念岳登頂後、体調不良に(息苦しく)なり動けなくなる。医師により自力下山は不可と判断。ヘリで病院へ収容。	病院収容	¥39,260
8	北海道知床 硫黄山	※ 単独・道迷い 羅臼岳から硫黄山へ登頂後、道に迷う。現在地がわからないまま沢筋を下りその後、岩場にて滑落し、歩行困難となり付近の岩陰でビバークする。4日後、再び行動開始。さらに2日後、林道脇の防護柵へたどりつき崖斜面から生えている木にまたがり待機。通りがかった知床自然センター職員により警察へ通報。同職員の車で搬送後、救急車にて病院へ搬送。	入院	¥262,503
8	北ア 穂高岳	※ 滑落 登山ツアーに参加。穂高岳山荘から奥穂高岳へ縦走中、吊尾根上にて130メートルほど滑落。山岳ガイドが降りて確認時、既に心肺停止状態。県警ヘリにて収容。	死亡	¥239,772
9	北ア 鹿島槍ヶ岳	※ 滑落 八峰キレット付近でバランスを崩して約150メートル滑落。翌日県警ヘリにより収容。	死亡	¥230,080
9	北ア 前穂高屏風岩	東稜ルートを下降中、懸垂器具よりロープが抜け墜落した。	重症	¥202,950
9	御嶽山	噴火被災。	死亡	¥128,460
10	北ア 北穂高岳	北穂高岳から上高地へ下山中にパーティーとはぐれる。4日後、南稜南側斜面にて死亡しているのを県警が発見。	死亡	¥345,948
10	神奈川県 陣馬山	※ 病気 登りの途中、虚血性心不全により死亡。	死亡	¥163,000
10	山梨県 三ツ峠	トップロープのビレイ中、落石があたり、右鎖骨を骨折。	負傷	¥80,000
10	越後駒ヶ岳	※ 滑落 駒の小屋から下山途中で150mほど転滑落。同行者が救助要請し、約2時間後県警ヘリにて搬送されるが、死亡が確認される。	負傷	¥254,515
10	北ア 穂高岳	※ 単独 登はん中の滑落により負傷、そのまま低体温症により死亡(単独の推測)。	負傷	¥255,954
12	八ヶ岳 赤岳	※ 道迷い 赤岳より下山中50mロープで約10ピッチほど下山したところ、降りる方向が不明になる。山頂へ登り返したが、山頂直下20mほどの所で日没のためビバーク。翌朝同行者に低体温症の症状がみられた為、救助要請。自身もひどい凍傷となる。	凍傷	¥300,985
12	長野県郡白馬 八方尾根スキー場	※ 滑落 白馬八方尾根スキー場のリーゼングラード滑走中、ホワイトアウトによる視界不良の為、コース北側のゲレンデコース外へ滑落。雪崩を避けるように滑走を続け、下山する。現在地・村への道が不明の為、救助要請。	特になし	¥50,000
12	北ア 奥穂高岳	※ 道迷い ホワイトアウトで道に迷っている最中にパーティーの内、1名が滑落し行動不能となり救助要請。	凍傷	¥60,000

2014年度補てん金額合計

¥6,082,817^{※1}

2014年度事後分担金精算額

上の補てん金総額および口座振替などによる支払い状況により、2014年事後分担金の確定精算額は、**会員1名あたり200円**といたしました。

すでに2015年に事後分担金を600円お支払いいただいておりますので2016年に400円を返金(相殺処理)させていただきます。

ご了承をお願い申し上げます。

2014年度事後分担金支払い状況	口座請求額	振替不能額	支払済
1月1日~10月31日口座請求実績	¥26,887,100	¥2,109,600	¥24,777,500 ^{※2}
11月1日以降請求予定金額 (口座振替・クレジット・その他含む)	¥1,881,600	¥111,000 ^{※3}	¥1,770,600
合計	¥28,768,700	¥2,220,600	¥26,548,100
2014年度補てん金額	¥6,082,717 ^{※4}		
超過額:A	¥20,465,283 ^{※5}		
事後分担金お支払済み人数:B	45,910 ^{※6}		
事後分担金精算額:A/B	¥400 ^{※7}		

※1 お支払事後分担金総額

※2 郵便振替支払い含む

※3 過去実績より約10%と推定

※4 受付済未請求事故2件(★)を含む

※5 ¥27,547,100・¥6,082,717

※6 10月末日までの各会員支払実績および11月以降予定人数

※7 ¥468円/100円未満を切捨て